

## 平成 21 年度船橋市環境基本計画策定委員会 第 2 回（地球環境）部会 議事録

日時：平成 22 年 2 月 22 日（月）13 時 30 分～

場所：船橋市役所 4 階 405 会議室

出席者：青木委員（部会長）

前田委員

篠田委員

事務局：環境保全課 西岡課長、近藤室長、伊藤課長補佐、布施、只縄

永田、鎌田

株式会社 数理計画

開会

事務局

（布施） それでは、ただいまから平成 21 年度船橋市環境基本計画策定委員会 第 2 回地球環境部会を開催致します。

本日の資料を確認させていただきます。おてもとには、資料 1 として施策分野別の施策（案）をご用意させて頂いております。

次に今後のスケジュールについて、ご説明させていただきます。本日は、①施策の具体的な内容、②進行管理指標について、ご検討して頂きたいと考えております。後日、追加でご意見等ある場合には、おてもとの書類にご記入頂き、2 月 26 日（金）までにメール・FAX 等で事務局まで頂ければと思います。委員の皆様からのご意見を反映させて頂き、3 月中旬頃を目安に部会（案）をお送りさせて頂きたいと考えております。その部会（案）を開催通知でご案内させて頂いたとおり、3 月 30 日（火）に第 2 回環境基本計画策定委員会（全体会）を開催し、その中で各部会（案）のとりまとめ、環境配慮指針、進行管理手法について検討して頂きたいと考えております。

それでは、部会長にこれよりの進行についてお願い致します。青木部会長、その後の議事進行について、よろしくお願い致します。

部会長 それでは、お手元に配布してあります次第により進めたいと思います。

まず「未来に向けた地球環境の保全」の施策分野から検討したいと思います。

事務局から説明願います。

事務局：鎌田 おてもとの資料をご覧ください。前回の部会におきまして、委員の皆様

には施策分野別の基本施策及び目標の検討を行って頂きました。その間、庁内検討会においても基本施策等を検討してきましたのでご説明させていただきます。

本日の部会では、市からの提案につきましてご検討して頂き、部会（案）としてまとめて頂きたいと考えております。

それでは、未来に向けた地球環境分野は3つの基本施策に分けておりますので、それぞれごとにご説明させていただきます。

事務局：鎌田 はじめに、地球環境の保全から説明させていただきます。

#### <資料1 説明>

部会長 事務局からの説明のとおり、具体的施策と進行管理指標の提案がありましたが、これについてご意見等お願いします。

篠田委員 地球温暖化防止の施策のところ、地域協議会として、地球温暖化防止の啓発に努めていくとあるが、地域協議会はどのように進めていくのか。

近藤室長 平成21年3月に協議会を立ち上げた。温暖化対策地域推進計画に基づいて実際に取り組むアクションプランを作成していく。

前田委員 地域別の協議会の設置をするのか。

近藤室長 船橋市全体としての地域協議会となる。

事務局：布施 補足として、商工会議所にも声を掛けて行っている。

篠田委員 地域協議会は今まで何回行ったのか。

近藤室長 4部会を1回ずつ行っている。

部会長 1ページ目の地球温暖化防止活動推進員は船橋市の推進員とするニュアンスにしたほうがいいのでは。

事務局：布施 法制度に伴い船橋市としても推進員をつくるのが可能となった。

近藤室長 推進委員には船橋市と追記する。また、管理指標についてはパブリックコメン

トまでには記入する。表現について好ましいかどうか検討頂きたい。

部会長 市の事業とは市域の事業を指すのか。

近藤室長 市内における事業となる。平成10年から取り組みを行っており、3期目に入る。今年7月までに率先行動計画を作成する。

篠田委員 市の事業とするより市の公共施設からの温室効果ガス排出量としたほうが分かりやすいのでは。

部会長 市民にとっては、わかりづらい。また、地域協議会のホームページの作成はいつ頃になるのか。

近藤室長 来年度予算で検討していただく、予算が決まれば6月ぐらいを予定している。

篠田委員 ライフスタイルの変革という話ではどういう情報提供をするのか。

近藤室長 出前講座で行っている。ホームページでも公表する予定である。

篠田委員 ライフスタイルを変えることで経済的に負担が小さくなるようなPRをおこなったほうがいいのでは。環境負荷を削減していくことでメリットがあるような話をしたほうがいい。エコ活動の結果、余計な経費がかからないような施策を考えてはどうか。

部会長 それでは次の施策に行きましょう。

事務局：鎌田 つづいて、エネルギーの有効利用の推進について説明させていただきます。

#### <資料1 説明>

部会長 事務局からの説明のとおり、具体的施策と進行管理指標の提案がありましたが、これについてご意見等お願いします。

部会長 3ページ目で省エネ設備普及のところを高効率給湯器と限定して記述してるが、限定してしまってよいか。等を入れたほうがよい。

前田委員 今後も補助があるのか。

近藤室長 平成22年度までは高効率給湯器については補助金が予定されている。

部会長 向こう10年の計画なので、広く捉えられる表現にしてはどうか。

近藤室長 確かに今後代替物が出てくる可能性がある。

部会長 太陽熱温水器等もある。

事務局：布施 太陽光とエコキュートが合わさったハイブリッド型もあるようだが、補助金まではまだ分からない。

部会長 補助金までは言及しなくていいので、幅広く捉えられるようにしてはどうか。

篠田委員 環境家計簿は利用されているのか。

近藤室長 少しずつ利用されているようだ。今は初級編として大まかな項目についてのみ押さえるようにしている。使いやすいとの声はある。

部会長 このようなものは説明して初めて理解される場合もある。

前田委員 どこかの団体が音頭を取ってやっていくことが大事ではないだろうか。取り組みを実施していく際には、関係各課と関係団体との筋道を作っていく必要はない。

近藤室長 その通りで、地域協議会については関係する人達が取り組みをどう広げていくかが大事になってくる。

前田委員 そのあたりが無いと目標の数値化は出来ないだろう。

前田委員 政府の25%削減案について対応するものは何か考えはあるのか。

近藤室長 前のページで記述しているが、今後温暖化対策の計画を作っていくことになる。船橋市単独で25%削減は難しい。政府の25%削減案はその内の10%は排出

権取引によるものとの話がある。

事務局：布施 補足すると、数値目標の10%減は、市民一人あたりの数値です。

前田委員 中間年度数値は、推進計画の10%となるのか。

近藤室長 現行の温暖化対策地域推進計画に基づいて10%を提示し、対応していく。

前田委員 進行管理指標の中で、駐輪台数については公的な施設のものか。

事務局：布施 公共的なもののみです。

部会長 公的なもの以外にも駐輪場はあるのか。

前田委員 バイク用の駐輪場も含め、民営の駐車場がかなりある。

部会長 自転車については道路の狭さも問題がある。

篠田委員 商店街ではアーケードが無い問題もある。

前田委員 水道施設等について、雨水利用も検討してはどうだろうか。愛知県岡崎市で雨水受けを作る話があった。水道の維持管理にもコストがかかり、エネルギーも使っている。

近藤室長 雨水は省エネの話になるか、または水資源の再利用と考えるか、どちらかの見方かによると思うが、生活環境の分野で記述している。

前田委員 市民レベルの省エネ活動としてこちらにいれてもいいのではと思う。

近藤室長 内部の検討で水資源の利用ということで重複しないように記述した。

部会長 記述内容の重複はまずいのか。

前田委員 風呂水の洗濯利用はかなり進んでいるはず。設備の導入ではなく、ごみの分別のように一手間掛ければ省エネになるような話をしてはどうか。

部会長 計画を広くカバーする意味でも再記述してはどうか。

前田委員 記述の件は事務局で検討してもらいたい。新エネの項目に街灯、防犯灯に LED 電球の普及促進をいれてはどうか。防犯灯は自治体レベルの取り組みではあるが。

部会長 省エネ機器の導入に入る事項なので、具体的にして管理指標にできるのでは。

前田委員 LED は各電機メーカーも積極的に動いている。家庭でも普及してきている。

部会長 それでは次の施策に行きましょう。

事務局：鎌田 つづいて、循環型社会の形成について説明させていただきます。

#### <資料1 説明>

部会長 事務局からの説明のとおり、具体的施策と進行管理指標の提案がありました  
が、これについてご意見等お願いします。

前田委員 7ページの清掃工場の建て替えについて記述されているが、ごみ焼却での熱の有効利用を行うよう一文いれてはどうだろうか。他の自治体で熱利用による温水供給の事例もあるようだ。

近藤室長 新エネルギー等の導入推進に係る施策の部分で記述している。

前田委員 承知した。

篠田委員 家庭のごみ処理の有料化については何か話題はないか。

近藤室長 そこまでは検討出来ていない。6ページの表現は事業系のごみについてになる。

篠田委員 家庭でのごみの排出は無料なので出しすぎる傾向にあるのでは。

部会長 千葉市ではごみ出しの適正化についてなかなかうまくいっていない。30%削減を目標にしているが、有料化しないと達成は無理であろう。

前田委員 進行管理でごみのリサイクル率が記載されているが、資源回収は本当に100%リサイクルされていないのでは。30~40%ぐらいとの話も聞くが、如何か。

近藤室長 ペットボトルは100%リサイクル協会に渡している。そこで再利用しましたとなっていれば市としては100%のリサイクルとなってしまう。

部会長 船橋市として中国へ出したりはしてないか。

近藤室長 市としては行っていない。

前田委員 東京都では廃プラの焼却処理を行っている。リサイクルについてはそれらに関わるコストも併せて検討してはどうか。場合によっては割高なやり方でも選択して行っていくようなことも必要ではないか。燃やした場合、リサイクルした場合、リサイクル協会へ出した場合でそれぞれ費用がいくらというように表現してみてもどうか。

部会長 進行管理の表記のところで、リサイクル率はどのように算出したのか。

近藤室長 家庭から排出されるごみの内、資源ごみ、ペットボトルを分子として算出した。

事務局：布施 用語に関しては定義、用法の解説を盛り込みたい。

部会長 廃棄物、ごみ等言葉の使い方はまちまちであったりするので、明確にして頂きたい。ごみは事業系も入っているのか。

事務局：布施 入っている。

部会長 1人1日当たりのごみ発生量の目標が現状より多いが、この表現は勘違いしやすい。

数理計画 現状で推移した場合の予測値が高いのだと思う。それに対して目標は下げるとのことだと思う。

事務局：布施 平成9年を基準として平成28年に5.4%を絶対量として出している。このところはうまく説明しないと清掃工場への入り具合が分かりにくいので検討

する。

部会長 今回の計画は現計画の見直しなので、元々の施策に対してどう考えるかといった部分はどうするのか。

事務局：布施 現計画の数値目標の達成に関するところは環境白書で記述している。温暖化対策推進計画ではより細かい計画をしている。

部会長 温暖化対策ではそうだが、他の部分ではどうか。所管部門が記述されている点では前回の計画と変化はあるが、10年たてば状況も大きく変わる。どこに力を入れていくなど考えはないか。

事務局：布施 今後、10年、15年で大きく変化するのは廃棄物の分野ではないかと思う。清掃工場の立て替えもある。それに伴い売電の話も出てくるかもしれない。新エネと一緒に省エネに関する話も出てくるだろう。

部会長 そのあたりの記述はどうしていくのか。

事務局：布施 事業の中で建替えに触れている。

近藤室長 前回の計画との違いについては、平成15年に船橋市は中核市となり、産業廃棄物の扱いについても権限が与えられた。また、温暖化の内容についても前回より大きく謳っている。

前田委員 全て分野別に挙げられていてそれはそれでよいが、住民向け、事業者向け、庁舎向けという様に主体別にまとめてはどうか。エコノートのような一枚ものの表をイメージしている。

事務局：布施 別章の環境配慮指針のところ、言われたような形で表記する予定である。

部会長 それでは、地球環境分野の具体的施策と進行管理指標については、部会（案）のとおりとしてよろしいでしょうか。

<委員より異議なし>

部会長 それでは、最後に事務連絡と今回のまとめはどうするのかを事務局から願いま



す。

事務局：布施 長い間、ご議論頂きありがとうございました。3月10日過ぎまでに内容をまとめて、確認頂き、3月30日に開催予定の策定委員会に部会案として提出する予定です。

本日の議事録につきましては、委員の皆様にご確認頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

なお、次回は3月30日に策定委員会の開催を予定しています。

また、今回の内容で追加の意見があればお手元の書類にご記入頂き今月中に頂きたいと思います。

部会長 各委員の皆様から、事務局に質問事項等ございますか。

無い様でしたら以上をもちまして、平成21年度船橋市環境基本計画策定委員会第2回地球環境部会を終了させていただきます。